



特集

令和5年度事業・決算報告



さあ、これから夏本番、「ハピひか屋台」で景気づけ！

練馬区立光が丘福祉園

トーク「無意識のバイアス」に抗う

何気なく本屋に入り、店内を歩いていると、「無意識のバイアス」という本が目に入りました。人間の様々なバイアス(偏向や先入観)、ステレオタイプ(画一化された概念)による偏見について興味がありました。翻訳本であるし分厚い本なので購入することは考えていませんでしたが、解説者の欄に高史明と書いてあり、一気に興味がわきました。

その理由は、12歳で夭折した息子さんの残した詩を高さん夫妻が編集した「僕は12歳」という詩集を20代に読んで、衝撃を受けたことを鮮明に覚えていたからです。ただ、購入後に分かったのですが「無意識のバイアス」の解説者の高史明(たか・ふみあき)さんと「僕は12歳」の編集者の高史明(コ・サミヨン)さんは別人でした。しかし、この書を購入した動機となり、高史明(たか・ふみあき)さんを知ることになったことを嬉しく思っています。

このようなきっかけで購入した本でしたが、著者はスタンフォード大学心理学部教授で「世界をリードする100人の思想家」の一人として米国科学アカデミーなどから選出され、人種問題の研究における世界の第一人者として知られる人でした。本書は、問題提起となる第1部「私たちの目に映るもの」、刑事司法の現状と科学の歴史についての第2部「自らをどう見出すか」、様々な領域におけるバイアスの現状と前途について書かれた第3部「抜け出すための道はあるか」からなり、それぞれを通して10章で構成されています。無意識のバイアスを可視化し、その存在について具体的な事例をもとに、平易な文章で書かれており、専門知識がない私でも読みやすい本でした。著者は黒人で、人種に基づくバイアス、特に黒人に対するバイアスを長年研究されていて、自身も多くの差別を受けており、その内容は私の想像を超えるものでした。

高さんの解説では、誰もが世の中の様々なステレオタイプに影響され、無意識のバイアスから自由ではないこと、差別は許せないという価値観を深く内面化している人さえ、無意識なバイアスによりしばしば不正な振る舞いをしてしまうことを指摘しています。

多くの情報が散乱する中、自分の考えに近いものだけを選んでいないか、発言力の強い人や大勢の人の意見になびき、同調圧力を形成する側になっていないか等々、自分のバイアスを常に見つめ直し、それに抗い続けることが、特に福祉従事者として必須だと思いました。

事業報告書(概要)

事業方針についての報告 武蔵野会の安定した運 営継続のための対策と組 織改善の取り組み

法人理念である「自分を愛するよう
にあなたの隣人を愛せよ」を基に、利
用者の権利擁護を図り、意思を尊重し
安心して安全な生活を提供できるように
環境を整え、丁寧な支援をモットーに
事業運営の取り組みを行った。

不祥事からの改善については、再び
皆様に信頼していただき、安心安全に
利用していただけるために、法人全体
でのプロジェクト、委員会活動を中心
に組織改善への取り組みを行った。昨
年、大島での不祥事に対する再発防止
検討第三者委員会より提出された報告
書については、粛々と改善活動を継続
した。

法人としての組織改善では、法人執
行理事、運営委員による経営革新ミ
ティングを継続し、今まで支援を受け
てきたコンサルから支援を受けないで
自立した改善活動が出来るように取り
組んだ。本部による組織体制の見直し
では、法人組織の核となる施設長会
は、オープンな話し合いの中でそれぞ
れが意見を交わす事を大事にし、話し

合いの中からのコンセンサスを得るこ
とに留意して運営した。施設長会議で
の合意形成については、より向上させ
るために次年度も継続課題とした。

各プロジェクト、委員会活動につ
いては、取り組み、結果についての差
が生じたため、PDCAの進捗管理に
ついては継続課題とした。

係長、主任を中心とした法人10年ビ
ジョンプロジェクトでは、コンサルの
サポートを受けながら1年間活動し、
年度末に最終報告を受けた。法人の次
世代の管理職候補が作成した最終報告
を基に、次年度、施設長を中心に法人
としての10年ビジョン(長期計画)を
作成し、内外に発信することとした。

全体の取り組みの中心は、継続して
いる現場力の強化を最重要とし、利用
者への質の高い安定した支援の継続を
一番の目標とした。合わせて、法人の
生き残りをかけて、採用と人材育成、
建て替えのための法人資金計画の取り
組みを開始した。

重点施策の事業報告

経営改革

重点施策1 本部改革

(1) 本部機能の見直し

①業務効率化

ア.組織ガバナンスの再構築(執行理事)
法人役員によるプロジェクト計画
の進捗については、プロジェクト
による差もあり、適切な計画の進
捗が出来ないケースもあり、それ
ぞれの遂行責任を明確にし、進捗
管理の徹底を課題とした。

イ.本部(法人)事務の業務効率化と
適切な人員配置
本部機能の改善では、採用システ
ムの構築、決裁の電子化、人事大
臣運用準備は出来たが、他の課題
については、改めて課題形成と優
先順位の再検討となった。

ウ.規程、法改正対応(子育て含む)
社労士事務所と顧問契約を結び、
各施設の労働問題への対応、適切
な労働環境への体制整備は整えた
が、法人の管理、経理規程の対応
等については次年度となった。

エ.施設 事務オペレーション
①本部機能改善としての、各施設の事
務(総務、経理、財務、人事等)
の法人集中管理化については、外
部コンサルとの検討を続けたが、
コスト的に実施可能かという問題
も含めた検討が必要になり、次年
度への継続課題とした。

②財務(資金確保)
長期資金計画では、法人全体の資
金把握を行い、法人各施設からの
繰入金ルールの見直しを行った。
次年度決算後、各施設からの繰り
入れを実施する。事業収入増加の
為の加算制度の活用、基準配置の

重点施策2 現場力の強化

(2) 施設運営ハンドブックの作成と定着

①施設運営管理の標準化
運営ハンドブック(施設ロールプ
ロファイル)について、施設長に
よる検討を行い、次年度からは具
体的な取り組みを始める。

②次期施設長、管理職の計画的な育成
コンサルによる研修を予定してい
たが、実施できず次年度の実施と
なった。

③福祉サービスプロセスの標準化
サービス向上委員会にて、事故報
告書の施設状況等を集約して改善
を行う。

④人材育成(学習と成長の組織へ)
ア.研修委員会
コンサルと共に階層別研修を実施
し、既存の階層別研修の見直しを
行った。その他、サポカレ以外の
オンライン研修を導入したが、活
用は次年度となった。

重点施策3 法人の危機管理

(3) 危機管理

①コンプライアンス体制の整備(コン
プライアンス委員会)
ここ数年実施しているコンプライ
アンス診断と施設での改善の取り
組みを実施した。施設での取り組
みに差があり、次年度は事業計画
にコンプライアンスの改善計画を
入れて取り組むこととした。毎月
1回、委員会から通信を発信し、
各施設でコンプライアンスの小テ
ストを実施するなど、意識の向上

に努めた。
②虐待防止の取り組み(虐待防止委員会)
法人内で複数の虐待事案が起こり、
虐待防止委員会として施設だけ
はなく、地区としての改善活動
を行った。職員全員にGoogle Formsを
使用した虐待セルフチェックを委
員会で行い、回答内容の確認、施
設での事実確認の指示は他の地区
の施設長が行うなど、施設内で完
結することなく、他の施設がチェッ
クすることでの客観性を持たせた。
次年度は第三者の介入の検討とした。
③災害への取り組み(防災委員会)
法人全体の防災訓練の実施、安否
確認訓練、各施設のBCPの確認
など、計画通りに実施。
④地域福祉の推進
施設では、取り組みの差も大きく、
地域での特色、ニーズの違いの中、
どうニーズを把握しながら有益な活
動ができるかを、現在の取り組みも含め
て見直し、次年度に今後の具体的な活
動を検討することとした。みんなの力
の支援については、施設長が第三者評
価の評価者活動を行うことで、自施設
の運営見直しも含めた施設長研修とし
ており、今後も継続する。武蔵野会セ
ミナーは、内容を地域社会における不
登校、引きこもりの理解にスポットを
当て、10月21日(土)に「不登校・発
達障害から引きこもりを考える」コロ
ナ禍を踏まえた地域における生きにく
さの実相と支援について」で開催した。

むさしの 武蔵野

旧優生保護法 を考える

旧優生保護法のもとで障害など
を理由に不妊手術を強制された人
たちが国に賠償を求めていた裁判
のうち、仙台や東京などで起こさ
れた5つの裁判の判決が7月3日、
最高裁判所大法廷で言い渡されま
した。旧法下で約2万5千人が不
妊手術を受けたとされており、
2018年以降、全国の12地裁や
支部で被害者など関係者39人が訴
えを起こしています。そのうち5
つの裁判で大法廷は旧法を「個人
の尊厳と人格の尊重の精神に反す
る」として違憲と判断し、国の賠
償責任を認めました。また、不法
行為から20年で損害賠償請求権が
消滅する除斥期間も「著しく正義・
公平の理念に反する」として適用
しないとしました。

その2週間後、岸田首相は官邸
で原告や関係者130人と面会し
謝罪しました。旧優生保護法が違
憲であり、個人の人權や尊厳を侵
害するものだったとの認識を表明
し、被害者への新たな補償を準備
させているとも言っています。

旧優生保護法の根底にある、優
生思想が社会から除去できるかと
言うところは難しいことだと思
います。自分が人より優越感を持
ったり、一番になりたいと思うこと
は否定できるものではないし、人
間が社会活動をしていくうえで存
在を肯定するために必要になるこ
ともあると思うのです。ただ、そ
の思想で障害者たちを差別するこ
とは糾弾されるべきであり、旧法
などはその部類にあると思います。
旧法について当事者団体が抗議活
動を行ってきましたが、国は実態
を明らかにしないまま法改正をし
たりしたため、なぜ改正したのか
が正確に国民に伝わっていないこ
ともあり、旧優生保護法を支持す
る人がいるのではないかとも思
います。誰しも願望を持つと思
いますが、その願望を自分以外の
人に求めたり、押し付けたりするこ
とは人の尊厳を侵す行為であるこ
うことを子供の頃から学べるよう
な社会になることを願ってやみま
せん。日々、自分自身の言動を振
り返り、点検する必要があると思
います。

白鳥福祉館
施設長 横尾 泰朗

法人単位事業活動計算書

(自) 令和 5年 4月 1日 (至) 令和 6年 3月 31日

勘定科目		当年度決算(A)	
サービス活動増減の部	収益		
	介護保険事業収益	649,913	
	児童福祉事業収益	500,828	
	就労支援事業収益	120,241	
	障害福祉サービス等事業収益	7,781,017	
	経常経費寄附金収益	50,275	
	その他の収益	16,395	
	サービス活動収益計	9,118,670	
	費用	人件費	5,930,749
		事業費	1,030,933
事務費		1,764,336	
就労支援事業費用		130,652	
利用者負担軽減額		181	
減価償却費		421,147	
国庫補助金等特別積立金取崩額		-147,664	
サービス活動費用計		9,130,335	
サービス活動増減差額		-11,664	
サービス活動外増減の部		収益	
	借入金利息補助金収益	1,722	
	受取利息配当金収益	39	
	その他のサービス活動外収益	57,991	
	サービス活動外収益計	59,753	
	費用		
	支払利息	4,178	
	その他のサービス活動外費用	44,583	
	サービス活動外費用計	48,762	
	サービス活動外増減差額	10,991	
経常増減差額	-673		
特別増減の部	収益		
	施設整備等補助金収益	1,239	
	施設整備等寄附金収益	355	
	固定資産売却益	821	
	特別収益計	1,240,672	
	費用		
	固定資産売却損・処分損	2,282	
	国庫補助金等特別積立金積立額	1,520,587	
	その他の特別損失	688	
	特別費用計	1,523,559	
特別増減差額	-282,887		
当期活動増減差額	-283,560		
繰越活動増減差額	前期繰越活動増減差額	8,198,835	
	当期末繰越活動増減差額	7,915,274	
	その他の積立金取崩額	30,860	
	その他の積立金積立額	28,113	
次期繰越活動増減差額	7,918,022		

法人決算報告書

法人単位貸借対照表

令和 6年 3月 31日現在

勘定科目		当年度末	勘定科目		当年度末
資産の部			負債の部		
流動資産	6,230,604	流動負債			2,656,579
現金預金	3,964,949	事業未払金			435,783
事業未収金	862,167	未払金			1,628,836
未収金	158	1年以内返済予定設備資金借入金			42,118
未収補助金	1,345,187	1年以内返済予定リース債務			36,877
受取手形	52	未払費用			126,801
貯蔵品	10,638	預り金			90,155
立替金	9,375	職員預り金			20,809
前払金	4,865	前受け金			30
前払費用	34,278	前受収益			914
仮払金	5	仮受金			496
徴収不能引当金	-1,074	賞与引当金			273,754
固定資産	11,910,465	固定負債			1,370,429
基本財産	7,059,874	設備資金借入金			770,133
土地	618,242	リース債務			90,457
建物	6,441,631	退職給付引当金			509,838
その他の固定資産	4,850,591	負債の部合計			4,027,008
土地	28,177	純資産の部			
建物	243,192	基本金			643,522
構築物	287,681	国庫補助金等特別積立金			4,422,333
機械及び装置	1,551	その他の積立金			1,130,181
車両運搬具	20,618	措置施設特定積立金			199,923
器具及び備品	175,392	施設整備積立金			824,714
建設仮勘定	2,288,576	人件費積立金			99,510
有形リース資産	91,391	工賃変動積立金			1,722
権利	929	就労設備整備積立金			4,311
ソフトウェア	5,013	次期繰越活動増減差額			7,918,022
無形リース資産	35,733	(うち当期活動増減差額)			-283,560
退職給付引当資産	509,838	純資産の部合計			14,114,060
措置施設特定預金	199,923	負債及び純資産の部合計			18,141,069
施設整備積立資産	824,714				
人件費積立資産	99,510				
工賃変動積立資産	1,722				
就労設備整備積立資産	4,311				
差入保証金	24,614				
長期前払費用	7,699				
資産の部合計	18,141,069				

※千円未満は切り捨て

ニユース
ラウンジ

民間移譲
北町福祉作業所

昭和58年10月、練馬区立心身障害者福祉作業所として開設され、平成18年以降、練馬区の指定管理者として武蔵野会が運営してきました。令和6年4月には練馬区から武蔵野会に移管となり、いよいよ法人立の施設として運営が開始されたところです。

移管に先立ち約1年間の大規模な改修工事を行いました。1階の旧保健相談所の半分も作業所の持ち分となり、新たに併設した生活介護サービスの活動室や医務室、事務室が増設されました。2階はこれまでと同じ就労継続支援B型の作業室や製菓室、食堂として使われていますが、改築を機に各部屋ともに明るく広い作業室に生まれ変わりました。コロナ禍の大規模改修工事、民営化ともに約2年遅れのスケジュールとなりましたが、工事中の光が丘第七小学校跡施設への一時移転事業も含め、一連の事業が無事完了し、気分も新たにしているところです。



新作業所全景

新規開設の生活介護サービスは、長年作業所に通っていた利用者の高齢・重度化した際の受け皿の位置づけとともに、生活介護でありながら個々に合わせた各種作業の提供も可能な、いわゆる制度の狭間で進路に迷っている方などにも利用していただくことを想定したプログラムを用意していきます。定員10人というこじんまりとした事業ですが、多様な障害者の生活の場として



就労継続支援B型作業室(2階)



改修後初日に全員集合

て小規模ならではの柔軟な支援を展開していきたいと考えています。就労継続支援B型事業は、長年培ってきた作業所のノウハウを生かしつつ、利用者の状態像に合わせた作業の提供を進めることを基本に、下請け仕事に依存しない、オリジナル(トウインクル・ブランド)商品の開発と製造・販売活動を中心とした作業に軸足を移していきたいとも考えています。今後は、多機能化のメリットを活かしたサービスを展開できるように利用者、職員一同、力を合わせていきます。

あじ祭 大学生カラオケ
大島恵の園
第2大島恵の園

地域行事として大島両園が企画・運営していた「めぐみまつり」がコロナ禍で休止されて4年。昨年の5類移行から、大島では以前のように外国人も含めた観光地としての賑やかさを取り戻し、玄関口である元町港で外国人観光客の対応にスマートフォンでの翻訳アプリを使用している姿を見ると、多様性の時代を感じさせられます。社会も活気を取り戻し大島両園の「めぐみまつり」開催を検討する中、利用者の高齢重度化による参加方法や催しの規模などが検討事項でした。

昨年度、福祉の裾野を広げる「ふくしデザインゼミ」を大島で開催し、参加したゼミ生から交流広場(大島両園の広場)を使用した「カラオケ」が提案されました。今年度は例年の「めぐみまつり」をコンパクトかつ両園利用者の楽しみの機会とした「あじ祭(6月の花・紫陽花)」として企画し、ゼミ生による「カラオケ」を取り入れたハイブリッド運営としました。

模擬店等の運営は施設が行いましたが、カラオケはゼミ生が中心



屋外カラオケで気持ちもハッピー

となり、大島両園の利用者のカラオケ大会やゼミ生・大島恵の園施設長・職員の即席3ピースバンド演奏などで会場を盛り上げていました。カラオケ大会に参加した利用者は晴天下、中にはあんこさんの姿で華麗な歌声で熱唱される利用者もあり、気温と共に熱いカラオケ大会となりました。

福祉の裾野を広げることを目的とした「ふくしデザインゼミ」を開設して3年目。ゼミ生の「思い」と「施設・地域」を繋ぐ、初めての取り組みとなりましたが、今後も様々な多様性やセルフエスティーム（自己肯定感）を活かす機会としていきたいと思えます。



あんこさん姿で熱唱です

しあわせの形を作っていくという思いが、伝わる・集まる・作られる場になるよう願っています。

ちよだんご えみふる 千代田区障害者福祉センター

2024年春、「えみふる」と同じ千代田区に「ちよだんごカフェ」がオープンしました。ちよだんごカフェは同じ区内でもえみふるが位置する神田地区から皇居を挟んで反対側にあります。あえて遠い場所に出店したのは、距離的にえみふるへ行きにくい方々にも足を運んでいただきたいという思いと、施設から独立した存在となり、新たな地域の皆様が集える拠点とするためです。

ちよだんごカフェは、その名の通り、お団子をメインメニューにしたカフェです。お団子は古くから人々をつなぎ、心温まるひとときを提供してきました。私たちは、そのような心温まる居場所となることを目指し、「人」と「地域」と「社会」を繋ぐ場所として、皆さまをお迎えします。

7月5日には記念すべき初イベントを開催しました。このイベントには多くの地域の方々にご来店いただき、大変盛況でした。今後地域のコミュニティスペースと

分場開始

世田谷福祉作業所

昨年度、世田谷区立世田谷福祉作業所（旧管理棟）の大規模改修が行われ、懐かしさを残しつつ、おしゃれできれいな世田谷福祉作業所分場が、4月から就労継続支援B型の事業を開始しました。

1階は「しあわせのもりあわせcafé」がメインとなり、2階は就労継続支援B型のスパイス工房と印刷工房・ランチルーム・ラウンジ等があるつくりととなっております。公園や神社の清掃へ出かける際の拠点としても使っています。



しあわせのもりあわせcafé

2階の工房では、カレーやチャイのスパイスを調合しています。南国の香りが漂う中、正確に軽量する利用者の皆さんの緊張感ある仕事が行われています。

印刷工房では、名刺やショップカードを作っています。ハンドルを手で回す活版印刷機で、使用する紙は本園の紙すき工房で作られ

して、様々なイベントを企画・実施していく予定です。

「ちよだんごカフェ」は、地域の皆様が気軽に集い、楽しみ、学び、遊び、その人らしくいられる場所でありたいと願っています。地域の皆様と共に成長し、「いらっしやいませ」ではなく、「ただいま」「おかえり」という温かい交流の場となることを目指しています。



ホットと一息つける場所～ちよだんごカフェ

とっておきの音楽祭 鳥山福祉作業所

世田谷区鳥山エリアでは5月31日と6月1日の2日間、鳥山区民センターホールとセンター前広場の2ステージで「とっておきの音楽祭・東京世田谷からすやま」を開催しました。この音楽祭は「みんなちがってみんないい（金子みすゞ『私と小鳥と鈴と』より）」を合言葉に、障がいのある人もない人も一緒に音楽を楽しみ、音楽のチカラ（力）で心のバリアフリーをめざすイベントとして、同会場

た手すき和紙を使っています。枠から紙がずれないように慎重に置き、クルクルとハンドルを回して刷り上がる作品は、手すき和紙と活版印刷が融合した味わい深いものになっています。昼食をランチルームで摂ったあと、ラウンジでくつろぐ利用者さんの姿があります。

1階のカフェは7月19日にリニューアルオープンを迎えることができました。白と薄いグレーの色調で統一された店内には、テーブル席とカウンター席が合わせて20席あります。外廻りはドリンクやケーキの彩りになるハーブやブルーベリーなどを植えています。オープンを楽しみにしてください。素敵です！と新たに来店されるお客さんもいて、にぎやかになること間違いなしです。利用者の「働きたい」という想いや、地域に根差した場所となるひとつの形として、ショップやカフェの運営を始め、「しあわせのもりあわせ」という屋号に込められた、一人ひとりの



広々とした店内は落ち着いた雰囲気

で2019年に初めて開催しましたが、翌年春からの新型コロナウイルス感染症拡大で5年ぶりの開催となりました。

この音楽祭は2001年から仙台で行われていましたが、音楽祭の想いに共感し2019年から東京で開催し今に至っています。今回も鳥山福祉作業所、ほーとからすやまの職員、利用者家族等が中心となり地域の有志の方々と共に実行委員会を組織し、地域共生社会につながる地域公益活動の一つとして取り組みました。今回も地域の方々にご協力いただき、出演者は50団体で総勢220名。運営は32名のボランティアスタッフがあたり、歌や音楽、ダンスなどのパフォーマンスを繰り広げました。今回はドラムサークルや、広場でのダンスタイムも企画し、たくさんの方々の来場と共に楽しめる、すてきな音楽祭となりました。



今年度のパンフレット



武蔵野児童学園

武蔵野会セミナーで昨年お世話になった相澤農園のご指導を受け、旧園舎の敷地に子どもたちと、ナス、甘ししとう、カボチャ、スイカを植えました。暑い夏が続いていますが、収穫した夏野菜を食べる元気に過ごしたいです。

さくら学園

家族懇談会として本年度も浜松町の島嶼会館で個別支援計画書の説明会を行いました。遠方のため御殿場まで足を運ぶのが難しい家族の方と直接お話をする機会は私どもにとつて貴重な時間でした。ご要望は全職員で共有させて頂きます。

すぎな愛育園

今年は6月中旬からプール活動を始めました。順調な滑りだしと思ったのも束の間、7月に入り早々に熱中症警戒アラートが発令されプールは中止続き。せっかく時期をずらしてもこの酷い暑さからは逃げられないようです。

駒沢生活実習所

区内ではありますが、2、3名の小グループによる利用者の宿泊を再開しました。数年ぶりということもあり、夜間はなかなか寝付けないという方もいて、職員にとつて

は利用者理解の助となっています。

大泉町福祉園

地域公益活動の環として8月3日に初めて小中学生を対象とした「福祉教育イベント」を実施しました。人権擁護の意識を高め、障害がある方々と共に暮らしていることを実感できるよう、視覚障害体験やグループワークを行います。

九品仏生活実習所

今年度は、コロナ禍の自粛明けという形で、ほとんどの予定を通常通り行います。電車散策や喫茶活動、一日外出を開始しており、皆さんが楽しんでる様子が早くもうかがえます。

八王子生活実習所

6月中、8回に分かれて一日外出を実施しました。事前に「どこへ行きたいか」「何を食べたいか」と、打ち合わせを重ねた結果、広い公園、牧場、ショッピングモール、カラオケ、ゲームセンターなど、各回とも笑顔があふれる外出となりました。

光が丘福祉園

7月27日（土）に5年ぶりの「ひかりまつり」を開催します。暑さや衛生面に配慮しながら、光ヶ丘団地の皆さんと一緒に楽しみたいと思います。日頃から創作活動や園芸、環境整備などでも多数のボランティアの方々にお手伝いいただき、誠にありがとうございます。

お知らせコーナー

7月

- 19日(金) 盆踊り会 (九品仏生活実習所)
- 26日(金) 施設公開・体験教室 (烏山福祉作業所)
- 27日(土) ひかりまつり (光が丘福祉園)
- 27日(土) 夏休み体験教室 (白鳥福祉館)

8月

- 10日(土) 盆踊り (リアン文京)

9月

- 13日(金) どんどこ祭 (駒沢生活実習所)
- 16日(月・祝) 敬老会 (リアン文京)
- 21日(土) こだフェス・音楽祭 (小平福祉園)
- 28日(土) GENKIまつり (きね川福祉作業所)

水拭き掃除機の寄贈

すぎな愛育園



東京善意銀行を通じて、アンカー・ジャパン株式会社様より、「コードレス水拭き掃除機」を寄贈いただきました。当園では、子どもたちが毎日体を動かして遊んだり、絵の具やクレヨンでお絵描きをしたり、給食を食べたりして過ごします。ダイナミックに遊んだ時は、使った絵の具やクレヨンが床についたり食べこぼしで床が汚れるため、日々療育後に掃除を行っています。時間が経って落ちにくくなる汚れもあります。今回寄贈いただいた水拭き掃除機で110℃スチームとオゾン水除菌機能を使いながらクラスの水拭き掃除すると、見た目でも床の色の違いが分かるほどきれいになりました。毎日水拭きをしていてもこれほど汚れが蓄

積されていたのかと驚くほどでした。今後も、頂いた掃除機を大切に活用しながら、子どもたちがきれいで安心して過ごせる環境を整えていきます。アンカー・ジャパン株式会社様、心より感謝申し上げます。



水拭き掃除機

60周年記念ボールペン

法人本部

社会福祉法人武蔵野会は昭和38年に法人認可を受けてから、令和5年で60年の節目を迎えました。新型コロナウイルス以前は、大規模な会場で利用者のご家族、職員全員が一堂に会し再会を祝うと共に互いの近況を報告し合い、アトラクションやおいしい食事を楽しんだこともありました。近年ではご承知のように人と人の交流が制限され、ようやく昨年5類に移行されたのですが、会場を確保する時機を既に逸しており、また地域では少なからずコロナ感染症の話題も皆無ではなかったため、栄えある60周年ではありましたが、周年行事の開催を見送らせていただき、記念品の配布にとどめることとしました。以前も周年記念の際には、ささやかながら記念品を用意していましたが、今回は「3色ボールペン」としました。法人の歴史を感じながら末永く使っていただきたいです。



記念の3色ボールペン

ショーケース

自主生産品紹介

旬の商品

お中元のご案内

八王子福祉作業所

☎042・654・7311

お中元の季節になりました。ご挨拶用にハチウエル・ラボ・カフェの焼菓子詰め合わせはいかがでしょうか。ご希望の金額に合わせてお作りいたします。郵送も承っておりますのでご相談ください。



焼き菓子詰め合わせセット (税込み5,000円)

夏野菜販売

希望の里

☎042・626・0631

5月下旬の2週間、八王子市中心身障害者福祉センターで野菜の展示即売会を実施しました。たくさんの野菜を準備しましたが、ほぼ完売し、特にカリフラワーは大人気で並べらるそばから売れていきました。お買い上げありがとうございます。ありがとうございました。



新鮮夏野菜はいかがでしょう

武蔵野会後援会

社会福祉法人武蔵野会が経営する施設とグループホームの利用者のために、より良い環境や施設の充実・施設の円滑な運営などを、物心両面から支える組織として、武蔵野会後援会があります。皆様のご理解とご協力により、会の拡大をはかり、法人の運営基盤の確立を応援していますので、ご協力をお願い申し上げます。

〒193-0931

東京都八王子市台町1-19-3

電話・FAX 042-626-9772